

メルマガ「とちぎ通信」 2017年12月号(第22号)

栃木県は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前トレーニングキャンプの誘致を進めていますが、10月6日、ハンガリーオリンピック委員会及び日本オリンピック委員会と本県で、ハンガリー選手団の事前トレーニングキャンプの実施に係る覚書を締結しました。また県内市町では、那須塩原市がオーストリアオリンピック委員会と事前キャンプ実施へ相互協力する協定書を締結しています。外国選手の県内トレーニングキャンプで栃木県も盛り上がりそうです！

■フランス・ヴォークリューズ県からプロヴァンス・ジャポン協会の会員7名が来県

9月27日(水)から10月2日(月)まで、栃木県の友好交流先であるフランス・ヴォークリューズ県から民間団体である「プロヴァンス・ジャポン協会」の会員7名が来県し、栃木県内のカウンターパートである「とちぎ・プロヴァンス協会」の創立20周年記念祝賀会への参加のほか、会員宅へのホームステイなどにより交流を深めました。

県も、9月28日(木)に会員の皆さんに日光市内を案内したほか、知事主催レセプションを開催し、歓迎しました。



▲県公館で開催された「知事主催レセプション」

■「とちぎのいいもの展示商談会 in 高雄」の開催

12月1日(金)、本県産品の販路開拓・拡大を図るため、台湾高雄市内のホテルにおいて、現地バイヤー等を招いた本県産日本酒の商談会を実施しました。県内から酒蔵2社が出展するとともに現地バイヤー16社以上が参加し、試飲・商談等が行われました。

会場には、2月に「経済分野及び教育分野における友好協力に関する覚書」を締結した高雄市政府の陳瓊華(チンケイカ)秘書処長が来場され、「この商談会を機に栃木県と高雄市との交流が更に深まるように願っている」との挨拶をいただきました。



▲現地バイヤーが参加した本県産日本酒商談会

■マレーシア・Food and Hotel Malaysia 2017に栃木県ブースを出展

9月26日(火)から29日(金)までの4日間、クアラルンプールコンベンションセンターで開催された Food and Hotel Malaysia 2017に栃木県ブースを出展し、県内の食品関連企業2社がインスタント麺やアイスクリームなどをバイヤーにPRしました。



▲東京拉麺



▲フタバ食品

マレーシアでは、日本産食品や日本食レストランが増加しており、日本食の認知度が高まっています。商品を試食したバイヤーの反応も好評で、マレーシアへの輸出に向けて多くの商談が行われました。

マレーシアでは、日本産食品や日本食レストランが増加しており、日本食の認知度が高まっています。商品を試食したバイヤーの反応も好評で、マレーシアへの輸出に向けて多くの商談が行われました。

◆◆湯西川温泉の冬の風物詩「かまくら祭」◆◆

今年で25回目を迎える湯西川温泉かまくら祭が、1月27日(土)から3月4日(日)まで開催されます。

日本夜景遺産に認定された「ミニかまくら」のライトアップは、訪れる方の前にロマンチックで幻想的な輝きを繰り広げます。また、かまくらの中でのバーベキューやそり滑りなど、湯西川温泉ならではの雪国情緒を楽しめます。



(観光交流課提供記事)